

# 取扱説明書 DK-24 Qi 自動開閉ホルダー 手帳対応 キャパシタ付

取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り付けご使用ください。

**同梱品一覧** ※開梱したら、同梱品がすべてそろっていること、本製品に損傷がないことを確認してください。万一、不足や不良がある場合は、当社又は、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- 本体
- 充電用ケーブル
- ゲル吸盤
- 取り付け用プレート



## ご注意

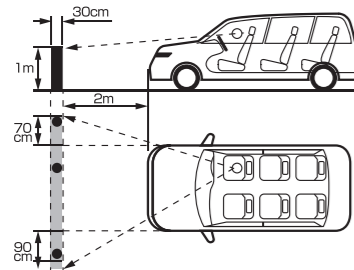
- 本革、合成皮革、布地、ウレタン、曲率の大きい曲面、大きな凹凸のある面には取り付けできません。
- 取り付けには必ず付属の取付用プレートを使用してください。取り付け箇所やその周辺は、取り付け跡が残ったり接着剤成分やゲル成分が付着する可能性があります。
- 曲面がきつい場所、大きな凹凸がある場所、本革、合成皮革、起毛地や布地面、表皮が柔らかいダッシュボードには貼り付け、改造してご使用等の事故・故障・破損等や指定材質以外への取り付け跡が残ったりするおそれがあります。
- 本製品の吸盤は硬い樹脂製以外の材質（やわらかいウレタン入り・レザー・スウェード・布地等のダッシュボードには破損・変色の恐れがありますので取り付けしないでください。）
- 本製品の誤った取り付け、改造してご使用等の事故・故障・破損等や指定材質以外への取り付けによる、ダッシュボードの破損、変色、破れ等の責任は一切負いません。
- 取り付けには必ず付属の取付用プレートを使用してください。取り付け箇所やその周辺は、取り付け跡が残ったり、接着剤成分やゲル成分が付着する可能性があります。
- 曲面がきつい場所、大きな凹凸がある場所、本革、合成皮革、起毛地や布地面、表皮が柔らかいダッシュボードには貼り付けしないでください。ダッシュボードの取り付け面が破損したり、取り付け跡などが残ったりするおそれがあります。
- スマートフォンケースが極端に厚い場合、充電できない場合があります。
- 本製品にQi規格準拠の端末（スマートフォン）以外を置かないでください。ホールド可能な幅は58mm〜83mmです。
- 同一平面に付属取付用プレートを貼り、吸盤全面を取付けてください。また、ご使用前には本製品がしっかりと固定されていることを確認ください。
- 磁気カードや磁気記録メディア、精密機器など磁気の影響を受けものは本製品に近づけないでください。
- 端末の充電口に充電ケーブルを接続している状態で、本製品に置かないでください。
- 端末を置く位置によっては適切な充電ができない場合があります。
- 充電中に通信品質やフリーズ状態などが悪くなる場合があります。
- テレビやラップなどに雑音が入る場合があります。
- ワイヤレス充電器どうしを近づけないでください。発熱を発生できず充電できない場合があります。
- 端末やケーブル、USB充電器の接続端子の変形や、導電性の異物（金属片・鉛筆の芯・ピン・砂など）または液体（汗・化粧水・飲料水など）が付着した状態のご使用は、端子間が短絡（ショート）し発熱や焦げの原因となり大変危険です。取り扱いは十分に注意ください。また異変があった場合はご使用をおやめください。
- 端子を斜めに挿し込んだり、接続状態で上下左右に無理な力を加えるなど、端子への負荷はかけないでください。
- 付属の充電ケーブルは本製品以外では使用しないでください。
- お子様の手の届かない所でご使用、保管してください。
- 本製品の誤った取り付け、または分解や改造してご使用などによる事故・故障・破損などの損害につきましては弊社では一切その責任を負いかねます。
- 本製品を使用中、異臭・変形等の異常が起きた場合は、製品の使用を直ちにおやめください。
- 使用にあたっては周囲温度（使用環境温度）が0〜45℃の範囲でご使用ください。
- 本製品を使用中にフーリングの故障やメモリの消去、またバッテリーパックの破損などが発生した場合、弊社では一切その責任、保証は負いかねます。あらかじめバックアップをお取りになってからのご使用をおすすめします。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーなどの医療用電気機器を装着されている方は、充電動作が医療用電気機器に影響を与えるおそれがありますので、本製品のご使用にあたっては医師とよくご相談ください。

## 取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆になります。

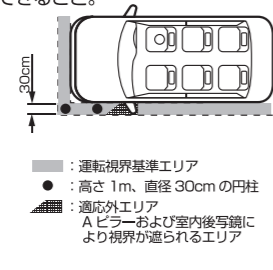
### 前方視界基準

＜基準概要＞  
自動車の前方2mにある高さ1m、直径30cmの円柱を鏡などをを用いず直接確認できること。



### 直前直左視界基準

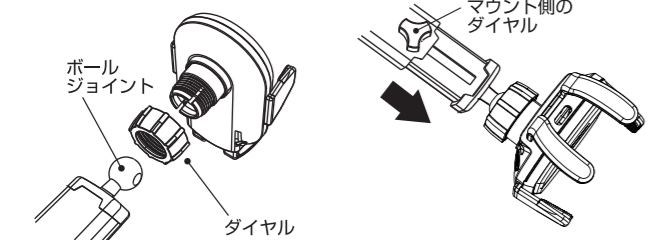
＜基準概要＞  
自動車の前面および左側面（左ハンドル車の場合は右側面）に接する高さ1m、直径30cmの円柱を鏡などをを用いず直接確認できること。



- ：運転視界基準エリア
- ：高さ1m、直径30cmの円柱
- ：適応外エリア  
Aピラーおよび室内後写鏡により視界が遮られるエリア

## 取り付け方法

**1** ボールジョイントにダイヤルを差し込み、本体に取付けダイヤルを締めてください。マウント側アームのダイヤルを緩めて好みの長さに調節してください。



## 保証書

保証期間 お買い上げ日より6ヵ月

DK-24 Qi 自動開閉ホルダー 手帳対応 キャパシタ付	
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒 -
お名前	電話番号
<h3>レシート貼付け欄</h3> <p>必ず、お買い上げ店舗のレシートをご添付願います。 レシートの提示がない場合は無償修理対象外となります。</p>	

### 【保証規定】

- 保証期間内に正常な使用状態（取扱説明書、台紙の注意書に従った使用状態）で万一故障した場合には、弊社の判断により弊社指定の方法で無償修理させていただきます。弊社の判断により製品交換をさせていただくことが有りますので予めご了承ください。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、保証書とレシートを製品に添えてお買い上げいただいた販売店までお持ちください。
- 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。
  1. 保証書とレシート（必ず購入日が確認できるもの）をご提示いただけない場合
  2. 所定の項目にご記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  3. 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
  4. お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下による故障及び損傷
  5. 火災、地震、風水害、落雷、その他天地地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
  6. 一般家庭以外（例えば業務用）での使用による故障および損傷
  7. 消耗または磨耗した部品の交換
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受け致しかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害については弊社はその責任を負わないものとします。
- この保証書は日本国内のみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- この保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

製品に関するお問い合わせ先 **050-3199-2558**

（平日のみ 10:00～12:00/13:00～17:00）

※通話料はお客様の負担となります。

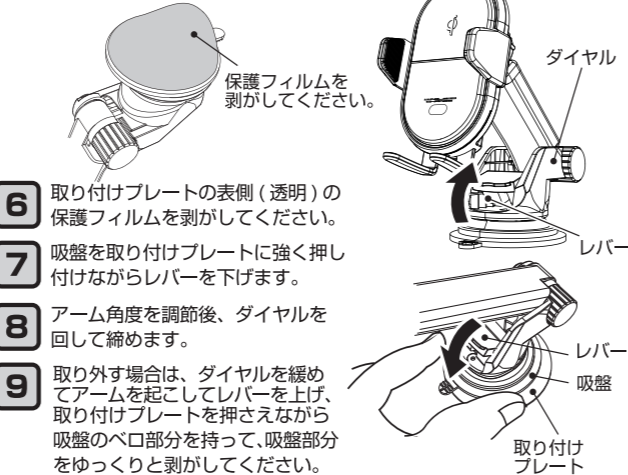


**2** 本製品に付属の充電ケーブルのType-C端子を本製品に接続してください。

**3** ダッシュボードなどの貼り付け場所の汚れや油分を拭き取ります。※ホコリや油分などで汚れていると確実な吸着ができません。

**4** 取り付けプレートの裏面の赤色の保護フィルムを剥がし、同一平面にしっかりとプレートを張り付けます。※曲面の貼り付けは避けてください。

**5** 吸盤側のダイヤルを緩めてアームを起し、レバーを上げ、保護フィルムを剥がしてください。※吸盤面に触れないように注意してください。吸盤面が汚れると吸着力が低下します。



**6** 取り付けプレートの表側（透明）の保護フィルムを剥がしてください。

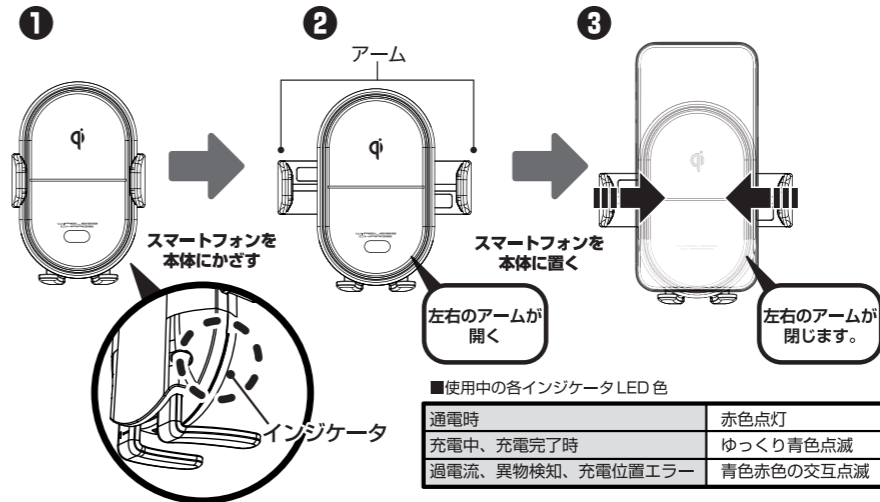
**7** 吸盤を取り付けプレートに強く押し付けながらレバーを下げます。

**8** アーム角度を調節後、ダイヤルを回して締めます。

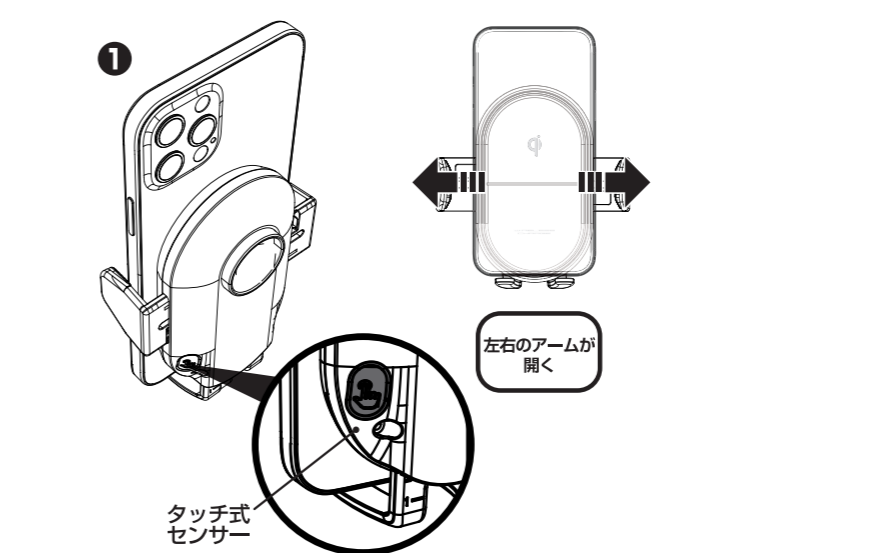
**9** 取り外す場合は、ダイヤルを緩めてアームを起してレバーを上げ、取り付けプレートを押さえながら吸盤のペロ部分を持って、吸盤部分をゆっくりと剥がしてください。

## 使用方法

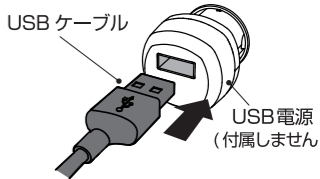
- 1** 本製品に付属の充電ケーブルのUSB端子をUSB電源に接続します。  
※本製品にUSB電源は付属していません。  
※本体に接続するUSB電源は定格5V2AまたはQuickCharge2.0以上をお使いください。  
5V2A以下の充電器に接続すると充電ができない場合や、充電に時間がかかる場合があります。  
※7.5W/10W/15W 急速ワイヤレス充電にはQuickCharge2.0以上の充電器が必要です。  
※充電ケーブルの端子はしっかり奥まで差し込んでください。
- 2** 車載側の電源（USB電源）を入れた後、本製品のインジケータが赤色点灯し、下図**①～③**の手順でスマートフォンを本製品に置いて充電をしてください。



- 3** スマートフォンを取り出す場合は、下図の手順で取り出してください。キャパシタ内蔵により、車載側の電源がOFFの状態でもスマートフォンを取り出すことができます。※スマートフォンを取り外した後、本製品のアームが自動で閉じることはできません。※電源供給停止後、アームの数回の開閉は可能ですが、その回数は使用環境によって異なります。



- ※タッチ式センサーには取り外すとき以外は触れないでください。スマートフォンが落下するおそれがあります。
- ※電源が入っていないときに無理に手で開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。
- ※本製品と充電する端末の間に、金属や液体などの異物がないことをご確認ください。
- ※充電しない場合や本製品のインジケータが青色赤色の交互点滅（異物検出時など）している場合は、端末を本製品から一旦離し、本製品のLEDが赤色点灯後に再度充電してください。
- ※充電中にインジケータがゆっくり青色点滅しない場合、補助足の調節をおこなうか、お使いのスマートフォンが本製品の適合機種であることを再確認してください。
- ※充電開始または充電完了の表示に関しましては端末の取扱説明書をご確認ください。
- ※充電時間は端末や充電環境により異なります。



※スマートフォンを置いても左右のアームが閉じない、又は、インジケータが赤色点灯している場合は、正しく充電できていない可能性があります。本製品の補助足を調節してください。

